



# 苧尾電波塔

苧尾（かりお）とは、広島県芸北町にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

## も く じ

### お知らせ

－会報『苧尾』第13号を発行

### 活動報告

－湿原の復元－実験地の植生調査－

### 観察会案内

－湿原の植物と昆虫

－昆虫の観察会

### 花だより

－ノリウツギ

－ハンカイソウ

－クララ

## お知らせ

会報『苧尾』第13号を発行しました(2003.6.30)

会員の方には2部ずつ送付します。興味のある方にご紹介ください。

原稿は引き続き募集しています。皆様からの投稿をお待ちしています。

### 【訂正】

3頁の斎藤先生の現在の所属は、毘沙門台小学校です。訂正してお詫び申し上げます。

## 活動報告

### 湿原の復元-実験地の植生調査-

開催日時：6月27日(日) 10:00～

集合場所：高原の自然館

主催：西中国山地自然史研究会

協力：高原の自然館、芸北町民文化ホール

夜明け前の大雨で、どうなることかと心配されましたが、調査をはじめるところには雨も上がりませんでした。今回の目的は、4月に設置した「棚田」の影響を確認するための経年的なデータを取ることです。棚田周辺では14カ所で植生調査を行っています。そのうち10カ所は2003年秋、4カ所は2002年秋と2003年夏・秋のデータがあります。佐藤克則さん(1班)、佐久間智子さん(2班)、そしてしらかわ(3班)を班長として、3つの班に分かれて調査を行いました(実は、佐藤さん・佐久間さんは調査のプロなので、しらかわはちょっと緊張しました)。まずは、1班と2班でベルト区の調査をしてもらいながら、3班は散在する調査地点を探していきました。昨年調査したはずのしらかわはなかなか杭を見つけることができず、ほとんどの杭を斎さん、野村さん、宮脇さんの3人に見つけて頂きました。全ての杭が見つかったところで、3班も調査をはじめました。途中、雨がぱらつきましたが、本降りにはならず、無事14プロットの調査を終えることができました。調査後、アスファルトの道路に座って、これからの展開など、自由に意見交換をしました。その時に出された意見は、次のとおりでした。

1. 調査プロットを見つけるのが困難なので、目立つ杭を設置したい。
2. ノイバラ等、侵入している樹木を取り除きたい。
3. 木道を整備する、看板を設置するなどして、人が入らないような工夫をする必要がある。特に、「なぜ湿地が重要なのか」「一步の踏み込みが与えるダメージ」といったことが伝わるようなものがほしい。また、パンフレットを作ったり、「マムシ注意」などの看板も有効なのではないか。
4. 主体的に復元に関わってきたという意識が持てるようなものが欲しい。
5. 湿原の保全活動に関わる資金源を、来訪者が支払うような仕組みはできないだろうか。

気が付けば14:00をまわっていて、おなかも空いていたのですが、話は尽きませんでした。遅い昼食を取ってから、自然館で未同定種の同定や資料の整理をしました。今回の報告では、野村吉春さん、斎陽さんに写真を提供していただきました。ありがとうございました。



1班の調査風景



こちらは2班。



3班はやや出遅れてスタートしました。



調査の後に、路上でミーティングをしました。



調査中にも、様々な質問が出てきます。



八幡湿原の話から、議論はいつのまにか地球環境問題・教育問題にまで発展していました。



予定していた調査は無事終了しました。



今回の精鋭です。

## 観 察 会 案 内

### ● 湿原の植物と昆虫

いつ訪れても別の顔を見せてくれる八幡湿原。今年も充実の講師陣で臨みます。

開催日時：7月4日(日) 10:00～

講師：岩見潤治・斎藤隆登・水田國康・和田秀次

集合場所：高原の自然館

準備：山を歩ける服装, 弁当, 雨具, 双眼鏡, ルーペ, 図鑑, メモ, おやつ等  
(かりお茶屋もご利用いただけます)

定員：30名(必ず予約をしてください)

参加料：1,000円(ただし、会員は無料)

### ● 昆虫の観察会

夏の自由研究お手伝い第一弾！  
甲虫類を期待して、例年より一週間早く開催します。お子様と一緒にどうぞ。

開催日時：7月24日(日) 18:30～

講師：岩見潤治・清水健一・水田國康

集合場所：高原の自然館

準備：雨具, ルーペ, 図鑑, メモ, おやつ, 虫除け等

定員：30名(必ず予約をしてください)

参加料：大人；1,000円 小人；無料  
(ただし、会員は無料)

## 花 だ よ り

中休みが長く、台風も到来するなど、今年の梅雨はどうしたんでしょうね？八幡ではやっとなつとクリが咲き始めました。千町原ではセイヨウトゲアザミ(帰化)の開花も確認されました。坂井屋池のアサザも見頃です。

【ノリウツギ】カンボクが終わると、湿原で目立ちはじめるのはノリウツギの白い花で

す。カンボクの花序が平面的なのに対し、こちらは花が円錐状に集まります。

【ハンカイソウ】この花が千町原に咲くと、夏！という気になります。

【クララ】かわいい名前なのですが、実は毒草です。クララという名前も根汁をなめると目が眩むほど苦いことから来ています。

### — インターネット版苧尾電波塔の紹介と購読移行のお願い —

苧尾電波塔はインターネットを利用したe-mailでも発行されています。印刷版と同じ情報が毎月あなたのメールアドレスに届きます。さらにe-mailなら、関連ホームページを見たり、そのまま返事をする事で観察会の申し込みができたり、とっても便利です。パソコンでe-mailをお使いの方ならどなたでも無料で申し込みができます。まずは高原の自然館ホームページをご覧ください。

高原の自然館ホームページからは、苧尾電波塔(紙版)のpdfファイルをそのままダウンロードできます。郵送している紙版に比べ、鮮やかなカラー写真を見ることができ、ダウンロードしたファイルはご家庭のプリンタを使って印刷することもできます。そこで、高原の自然館では紙版(郵送)からインターネット版への購読移行をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

【高原の自然館】<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>

先日、久しぶりに下界(広島市)に下りたら、あまりの暑さと都市臭にクラクラとしてしまいました。梅雨明けの時期というのは一気に気温が上がるため、身体機能がなかなかついて行かないそうです。グッと緑が濃くなり、様々な花が咲くこの時期ですが、体調には気をつけて散策を楽しみたいですね。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

### 高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡芸北町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>

[nature@town.geihoku.hiroshima.jp](mailto:nature@town.geihoku.hiroshima.jp)